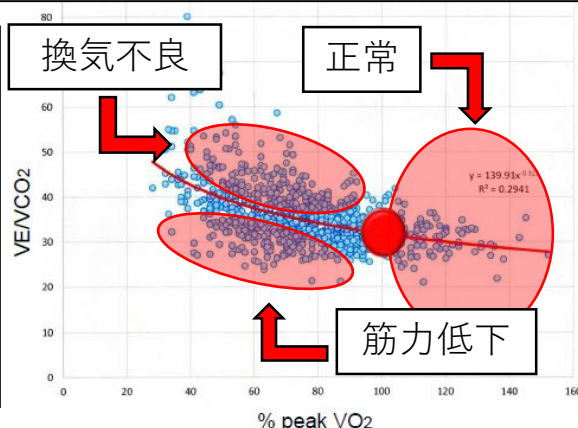


第8回日本心臓リハビリテーション学会東北支部地方会ポスター発表



12月10日に仙台で開催された第8回東北支部地方会に四戸作業療法士（以下OT）が発表してきました。演題は当院での心リハOTの取り組みで雪かきなどの生活指導や症例を通して当院の活動を発表してきました。多くの質問や意見を頂き当院での活動をアピールできました。循環器領域でのOTの役割はとても重要だと思います。日々研鑽し当院からも発信していきたいと思います。

ポスター発表の他にも企業展示で心肺運動負荷試験（以下CPX）について勉強してきました。CPXでは様々なデータから運動耐容能の評価を行います。右図のグラフが新たな指標で評価ができるようになりました。この指標は運動耐容能低下の原因が筋力低下なのか肺への血流が少ないのか、酸素と二酸化炭素の交換が上手くできていないのかかを評価できます。



第9回日本骨格筋電気刺激研究会学術集会に参加



今回オンラインにて第9回日本骨格筋電気刺激研究会学術集会に参加し、講演では、移植手術を受けられる患者様がベルト電極式骨格筋電気刺激（以下B-SSES）を積極的に使用し、術後の筋力低下を抑える事に成功しているとの報告がありました。

また、会の発足から10年が経ち、B-SSESの使用により筋の生成に関する基礎系分野の研究、心臓・腎臓等の内部障害領域、整形外科領域、救急/ICU領域での各研究の進捗状況や課題についての総括がありました。

引き続き当院でも適応となる患者様に積極的に活用し、リハビリの質を高めていきたいと思っています。